

平成 19 年 12 月 25 日

各 位

会社名 株式会社キムラタン
代表社名 代表取締役社長 浅川岳彦
(コード番号：8107 大証第1部)
問合せ先 取 締 役 木村裕輔
(TEL 078-242-4500)

子会社株式の売却に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 12 月 21 日開催の取締役会において、当社が保有するオプト株式会社（連結子会社）の全株式売却について下記の通り決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当該子会社の概要

- | | |
|-----------|------------------------|
| (1)商号 | オプト株式会社 |
| (2)代表者 | 代表取締役社長 小川達朗 |
| (3)所在地 | 長野県佐久郡軽井沢町軽井沢東 16 番地 2 |
| (4)資本金 | 3 億 14 百万円 |
| (5)主な事業内容 | IT 関連機器の設計開発・製造 |

2. 株式売却の内容

- | | |
|--------------|--|
| (1)売却する株式数 | 4,467 株(発行済株式総数および議決権の総数に対する割合はいずれも 67.0%) |
| (2)売却価額 | 3 億 77 百万円 |
| (3)売却先 | 大濱民郎氏 |
| (4)株式譲渡契約締結日 | 平成 19 年 12 月 25 日 |
| (5)株式譲渡日 | 平成 19 年 12 月 25 日 |

3. 売却前後の所有株式の状況

- | | | |
|--------------|--------------|--------|
| (1)売却前の所有株式数 | 4,467 株（所有割合 | 67.0%） |
| (2)売却株式数 | 4,467 株 | |
| (3)売却後の所有株式数 | 0 株（所有割合 | 0.0%） |

4. 売却の理由

当社は現在、早期黒字化に向けた抜本的な事業再編を行っており、「選択と集中」の諸施策を推進しております。今回その一環として当社保有の子会社株式を売却するものでありますが、当該売却により得られた資金をコア事業へと集中させ、早期経営再建を確実なものとしてまいります。

当社はオプト株式会社に対し超小型広角カメラシステムの開発投資を行ってまいりました。また、AV 関連製品の品質管理および販売後のアフターフォローにつきまして同社に委託してまいりました。超小型広角カメラシステムにつきましては既に開発は完了しており、今後大きな開発資金は必要ないものと見込まれ、当社は製品の販売のみを行っていくこととなります。AV 関連製品につきましても、引き続きオプト株式会社のサポートを受けながら継続して販売ならびに販売後のアフターフォローを行ってまいります。

以上の通り、当社エレクトロニクス事業につきましては、オプト株式会社との資本関係はなくなるものの、販売活動に専念する形での業務提携をさらに強化させ再始動いたします。

5. 業績への影響

上記株式売却による業績への影響はありませんが、オプト株式会社が連結範囲からはずれることに伴う連結業績への影響につきましては現在鋭意算定中であり、確定次第お知らせいたします。

なお、当該売却による個別業績への影響はございません。

以上